

## コンテンツ開発の元祖ハリウッド最前線に迫る

文教大学大学院 情報学研究科 教授 高田 哲雄<sup>†</sup>  
Tetsuo Takada

### あらまし

国際化するコンテンツ開発の実践的研究は現地に行くしかない。今回は通訳抜きで直接ハリウッドの映画関係者に会い、また映画関連施設を見てきたのでその一端を報告する。

キーワード：コンテンツ開発、映画企画、ピッチング、Hollywood、WGA、AFI

### 1. はじめに

最近、日本で開発されたゲームコンテンツやアニメ映画が海外でヒットする状況が生まれている。逆に、ハリウッド映画が必ずしも無条件に各国で受け入れられるとは限らない状況も出ている。しかし、世界市場を今日まで席卷してきたアメリカ映画、そしてハリウッドが果たしてきた先導的役割については、誰しも疑問の余地はないだろう。エンターテインメント企画とその国際的展開の原点は、やはりハリウッドである。筆者は今年の3月20日より1週間、現地L.A.を視察してきたので、その一端を報告する。

### 2. That s very Hollywood !

コンテンツ制作の前提としては、発想と企画が重要であることは言うまでもない。筆者はすでに2006年2月にハリウッドの2大エージェンシーの一つであるICM社のスー

リーエディター、およびエージェント、映画関係者らにピッチングを行った。ピッチングとは、ハリウッド・スタイルによる”企画のプレゼン=売り込み”であり、基本形が定まっていると言われるくらいに現地では慣習化している。

しかし、インパクトのあるピッチは自分自身で独創的な方法を研究し、実際にチャレンジしてみるしかないようだ。今回は主催者側であらかじめ契約した通訳が入ってくれたが、今回頼るのは自分自身の英語力だけだった。

実際に現地のICM社ビルに行ってみると、改装中?いやそのビルは明らかに閉鎖されていた。その瞬間”That's very Hollywood!”とつい声が出てしまった。その場で改修作業をしていた職人に尋ねると、ICM社は映画会社MGMのビル内に移動していると教えてくれた。そのMGM社に足を運ぶと、エントランス・ホールには巨人のようなガードマンが何人もいる。強面の彼らであったが、ICM社の名刺を見せると快く通してくれた。しかし、当時のメンバーは現在のリストにはないとのこと。結局、直接彼らに会うこと



Stephanie Palmer 社長(右)と筆者

2008年6月27日受付

<sup>†</sup> 〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100 mmtake@shonan.bunkyo.ac.jp  
Graduate School of Information and Communication, Bunkyo University

はできなかった。とはいえ、このことは日本を出発する前  
にある程度、予期はしていたことなのだが・・・。

しかし、前回のピッチングに同席していた Good in a Room  
社の社長（元 MGM ディレクター、映画「タイタニック」の  
製作にも関わる）Stephanie Palmer さんに再度、お会いす  
ることができた。また、その会合において全米 TV 番組 "The  
Late Show" を手がけた脚本家 Hank Bradford 氏にもお会い  
し、まさにコメディータッチの楽しいお話を拝聴するこ  
うができた。

私自身の企画作業は続いているが、具体的な進捗状況に  
ついての詳細はここでは省略する。

### 3. WGA のスト終結直後に登録

しかし、最終的にモノを言うのは script（脚本）に他な  
らない。そこで、著作権を証明するために自分の企画  
"Ghost in the Ghost" を WGA : アメリカ脚本家組合  
(Writers Guild of America)へ登録した。

ご存知の方も多いと思うが、WGA は DVD やネット配信に  
よる利益増の適正配当を主張して、昨年 11 月初旬からスト  
ライキに入っていた。したがって、その間の企画売り込み  
活動は "スト破り" として非難を受けてしまう。

今年の 2 月中旬になってやっとストライキが終結したば  
かりで、今回の訪問もそのタイミングを待ってのことだっ  
た。ハリウッド史上最長と思われるこのストライキは映画  
産業のみならずあらゆる経済活動に多大な影響を残してい  
る。



WGA West 本部

筆者の Script 登録証

### 4. アメリカ映画協会を訪問

また、現地ハリウッドにおいては、映画作品の保存と映  
画教育に著しい役割を果たしてきた AFI (アメリカ映画協  
会)の研究教育施設を訪問するとともに、AFI Conservatory  
(AFI 芸術院)の Executive Vice Dean である Joe Petricca  
にお会いし、教育方針や卒業生の活躍についてもお話を伺  
ってきた。



AFI (アメリカ映画協会) 芸術院の施設



AFI Vice Dean の Joe Petricca(左) と筆者

AFI は、1992 年に映画撮影監督の歴史を特集した  
"Visions of Light" を制作し、日本においても NHK の特別  
番組で放映されている。

また、1998 年にはアメリカ映画 100 周年を記念して「AFI  
アメリカ映画 100 年 (AFI 100 Years... )」シリーズの発  
表を行い、日本において放送されている。映画年鑑関連の  
出版においても、主導的な役割を果たしている。その芸術  
院の図書館を見学したが、かつて見た大ヒット映画の脚本  
の現物に直接、手を触れてみる事ができる環境には、大  
変驚いた。

### 5. おわりに

頭の中だけで考えていたハリウッドが徐々に現実のもの  
になってきた。それは、単純に "夢が接近した" という意  
味ではなく、利害長短を含め、あらゆることが間近に見え  
てきたというのが本音だ。この体験から筆者は、アメリカ  
とはまったく対照的な例だが、方丈記の「ゆく河の流れは  
絶えずして、しかも、もとの水にあらず。淀みに浮かぶう  
たかたは、かつ消え、かつ結びて、久しくとどまりたる例  
なし。」鴨長明の名文をあらためて思い起こしたのである。

たかだてつお  
高田 哲雄



出身:群馬県  
東京芸術大学大学院美術研究  
科修士課程修了  
京都芸術短期大学助教授等を  
経て、現在、文教大学情報学  
部広報学科及び大学院情報学  
研究科教授  
国際アジア現代美術展サンケ  
イ新聞社賞、フジテレビジョン賞等を受賞

3DCG などデジタルコンテンツが主なテーマだが、現  
在、立体映像及びストーリー開発にも挑戦している。